



まだまだ寒い日が続いていますが、花壇の水仙が芽を出し春はもうすぐだと言っているようです。資料館でも春の季節展おひなさまが始まります。来館していただく皆さまに、季節感ある展示として春を感じていただけたらと思います。

季節展

おひなさま

2月12日(金)

~3月21日(日)

—きらびやかな御殿飾り—

御殿飾りは、京都御所の紫宸殿を模倣した御殿に雛人形を飾り、大正時代から昭和30年代まで流行した雛人形です。当館で収蔵する御殿飾りを展示します。



昭和初期の御殿飾り

常設展示に**伊勢崎市と赤城山・利根川・渡良瀬川**が加わりました



伊勢崎市は赤城山・利根川・渡良瀬川でできています。というのは、赤城山の岩屑なだれによる梨木泥流がつくった多田山などの「流れ山」、渡良瀬川により形成された「大間々扇状地」、利根川によりつくられた「伊勢崎台地・広瀬川低地帯」の大きく3つに地質上分けることができます。これらの自然の舞台で伊勢崎市の歴史はつくられおり、市内の遺跡もこれに応じた分布となっています。自然を知ればもっときっと歴史は面白くなるはずです。1階常設展示室にパネルで紹介しています。

東北地方と関東地方の特徴をもつ

縄文土器

展示資料シリーズ27 ~常設展示中~



釜ノ口遺跡出土の縄文土器

この縄文土器は、釜ノ口遺跡(堀下町)から出土した、縄文時代晩期(約3,000年前)の縄文土器です。大部分を石膏で復元しています。土器にはこの時期に東北地方で特徴的な「エ」のような文様が入り組み、また関東に特徴的な粘土瘤を貼り付けたり、両地方の特徴が混じった北関東地方特有の縄文土器です。縄文土器の文様には「地域」が表され、一つの文化圏として捉えることができます。私たちの言葉の「方言」に似ているのかもしれませんが。

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください

お問い合わせ

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

入館無料

群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX0270-63-0087

休館日: 月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始・臨時休館日 開館時間: 午前9時~午後5時(入館は4時30分)